



新入会員紹介

QRコードより会員企業のHPもご覧ください(´◇`)ゞ


水戸支部 會澤 和芳さん
(株) MAINA & Co
代表取締役



事業内容: 印章・占い・EC
色々な方と関わって、新しいことにどんどん挑戦していきたい。



水戸支部 種村 朝彦さん
(有) アニテック
種村テイサービス 取締役



事業内容: 通所介護施設
今まで経営のことが分からなくても、何とか会社をやって来れた。でもこれからはきちんと経営を学んで会社を良くしていきたい。

ホームページ 

Facebook 

Instagram 



2023.11.1 No.328 発行/茨城県中小企業家同友会

DOYU IBARAKI

〒310-0851 茨城県水戸市千波町1918 セキショウ・ウェルビーイング福祉会館 3F
電話 029-243-8230 ファックス 029-243-7225 メール info@ibaraki.doyu.jp

2023年度新入社員フォローアップ研修会



2023年度新入社員
フォローアップ研修会
2023年10月6日(金)
茨城県中小企業家同友会


2023年10月6日(金) セキショウ・ウェルビーイング福祉会館にて

4月の新入社員研修会から半年。入社した時の想いや”やる”と誓った決意表明。同期と共に振り返り、社会人としての学びと気づきを共有しました。前半は茨城同友会会員ひまわり保険労務士事務所江学さんが講師となり、「社会人として実践すべきこと」についてワークを行いました。後半は昨年度受講生の先輩社員((有)茨城ベルトサービス大月啓悟さん)から「働くということ」と題し、これからの活躍に大切なものを体験を通してお話いただきました。日々の業務から離れ、仲間と共に過ごした一日。緊張や真剣さの中にも笑顔が見られました。最後には受講生全員があらたな決意表明を記し、次のステップへと歩き出しました。


会員企業紹介

Facebook・Instagramでも紹介しています。ぜひフォローもお願いします(*´ω`*)

住まう人に健康で快適な居住環境を提供する会社




豊田 一雄さん 水戸支部
(株)根子左 代表取締役
【左官・塗装・リフォーム】




- ・若手職人の採用
- ・インスタやYouTubeでのSNS外部発信
- ・新しい技術の研究とお客様への提案

豊かな生活のエッセンスとなる美・花・華を届ける会社




高岡 裕子さん 水戸支部
(有)トツカフローリスト 代表取締役
【販売(生花)・ウェディング・葬儀】



- ・昨年新店舗オープン。法人顧客増加
- ・カフェレイアウト変更
- ・就業規則作成・職場環境づくり


「人もの会社を守り 周りを活かし輝かす」企業




黒澤 公一さん 水戸支部
(株)クロサワ事務所 代表取締役
【不動産賃貸、太陽光発電】

- ・発電・不動産事業を展開
- ・保険事業はエーエージェント会社と提携
- ・再生可能エネルギーの新事業を模索

保険業界の課題解決に果敢に挑戦する企業




伊藤 祐さん 水戸支部
(株)エーエージェント・インシュアランス・グループ
ゼネラルマネージャー
【保険業】




- ・保険代理店支援プラットフォーム(個人代理店とのパートナー提携)
- ・事業承継問題改善のビジネスモデル
- ・名古屋証券取引所で上場。損害保険会社として初

お客様の想いに応え、伴走型支援で未来をつくる行政書士




柴田 香里さん 水戸支部
行政書士法人茨城総合法律事務所 行政書士
【行政書士業】



- ・行政書士として、多様な業務に対応
- ・建設業界に強い
- ・思考パターンを理解するセミナー開催で中小企業の人材育成をサポート


地域の未来を支える学童保育




飯塚 俊紀さん 県央海浜支部
地域教育支援いばらき・学びの杜フォレスト
副理事長
【学童保育】

- ・保護者が安心して預けられる環境づくり
- ・高学年用の新施設
- ・基礎学習の他に農業体験なども実施

未来の人と地域をつくる企業




阿久津 隆男さん 県央海浜支部
(株)ソフナーズ 代表取締役
【ソフトウェア開発・パッケージソフト販売】




- ・市場縮小への対応
- ・HACCPシステム開発・運用(茨城同友会の仲間と連携)
- ・プログラミング授業などで若手社員が高校で外部講師(本業で地域貢献)

毎日食べて美味しい食事を提供するお店



磯崎 康さん 県央海浜支部
(有)魚康 代表取締役
【飲食店経営、仕出し・弁当】



- ・スタッフと連携したオペレーションで回転率を上げる
- ・事業再構築補助金でスイーツラボ立ち上げ
- ・茨大サークルと連携し、干し芋製造の廃棄物を再利用した商品開発(SDGs)

第24期経営指針を創る会 第6講



2023年10月20日(金) セキショウ・ウェルビーイング福祉会館にて

理念とビジョンの発表を終え、後半戦「方針と計画」の章に突入。右脳から左脳へ切替え、想いをカタチにしていく。

理念やビジョンによって目的地を定め、SWOT分析によって現在地を知る。目的地と現在地が明らかになると、進むべき道筋(経営方針)が見えてくる。

相互性があるか、プしていないか、都度ブラッシュアップしながらビジョン実現のための課題を明らかにする。自社を分析し、変化の中から自社の発展する道を探す。

委員・OB・受講生が共に学び合い、励まし合い自らの経営姿勢を見直す機会になる。第6講は特に本音で本質に迫る誠実な関わり合いが各グループで見受けられました。



日立支部



滑川 裕さん
(有)スタンプナメカワ
代表取締役

9月6日(水) 日立シビックセンター
【僕たちは何を望み、どう生きるか】

テーマは『こだわりととらわれ』。時間をかけ自分と向き合ってきた価値観・想いは、より良くなるための『原動力』となっているか? もしくは『枷』となっているか? という所に焦点を当てました。政府主導による脱はんこ等、近年の大きな外部環境の変化を受けた業界に身を置く有限会社スタンプナメカワの滑川裕さん。
例会づくりの中で、印章店三代目としての覚悟・印章彫刻技能士として培ってきた技術や想いの置き方がいつしか自身の選択の幅を狭めていたのではということに気がつきま

した。
本来一番を目指すべき所は経営理念にも記された『みんなの笑顔を創造する』ことであり、体現する考え、手段は何の制限もなく自由である。自身を取り巻いていた霧をとりはらい次の飛躍への足がかりとなった例会になりました。
(レポート:菊池 剛)



南西支部



八巻 大介さん
(株)つくば食品
代表取締役

9月26日(火) つくばカピオ
【フード会社の風土創り!!

~いい会社はいい社風から始める~】

八巻さんが事業承継してから特に取組んできたことが組織の風土づくりです。組織風土は目に見えないものだけに経営者によって重要度は様々です。おおよそ60名のつくば食品の組織において採用、定着、育成等の課題に取り組んで行く中で「多様で幸福な働き方を実現し、ひとり一人の能力が発揮される環境創りをすすめ、世の中から必要とされる人がたくさん集まる社会に貢献する『いい会社』に成長するビジョンを掲げました。急激な人口減少局面だから多様な働き方を求めた訳ではなく多様な働き方ができる環境こそが

人が持っている潜在能力が発揮され、かつ成長し、幸せとなる。まさに同友会の「人を生きず経営」の実践です。多様な働き方への取組みは勇気が必要であり、愚直なまに對話(風通し)を重ねて風土づくりに取り組んでいます。それは八巻さんご自身が風土は一瞬にして崩れることを知っているからです。「文化(風土)は戦略を超える」と言われており、良い企業風土で自立・自走する組織がこれからの戦略であると学びとなりました。
(レポート:物江 学)

県央海浜支部



久保木 祐介さん
(株)スリーケイデザイン
代表取締役

9月11日(月) ひたちなか商工会議所会館
【あなたにとってお金とは? 最高の人生のを見つけ方】

今回の報告に参加された皆さんは、明日からの行動に変化がうまれそうですか? 仕事に対して、社員に対して全力で向き合う私達は、自分の内側に対しては詰めが甘くなりがちです。正に私はその典型で、全力で院長として向き合うあまり、自分の資産がどの位あるのかさえぼんやりとしか知りませんでした。株価とらめっことしりしなくても出来る、専門的な知識が無くても出来る、仕事が本業な私達にでもできる対策のさわりを教えてくださいました。
久保木さんは自分で足を使って情報と知識

を得て、自ら投資して得た知識から教えてくれています。どこに肩入れするものでもなく、ニュートラルに知識を開示してくれています。こんな機会またとありません。タイムバケットを実現化し、豊かな人生を作りましょう。そして未来に対する心配が減れば仕事に安心して更に打ち込むことが出来ると思います。久保木さんが自分の時間を使って報告の場に立っているのは、茨城同友会の仲間が共に豊かになり、幸せを享受し、新しい未来を作っていく第一歩になればという思いからです。彼なりの恩返しなのだと思っています。
(レポート:大畠 邦博)

県西支部



乳井 智和さん
(株)丸和園
常務取締役

9月20日(水) 境町商工会館
【時流への挑戦 ~時代への変化をどう読みどう動く~】

乳井さんご縁があり、前職化粧品セールスを辞め、丸和園に入社し現在役職は常務。仏事のギフト返礼品の取り扱いがコア業務なので、ニーズや生活様式の変化から先細りになることを危惧。家族葬が増え、何か手を打たないとなあと考えていたところ、コロナ禍で急加速。需要が減り、市場縮小、従業員数を減らし、乳井さん自身が現場に出てプレイヤーとなり、マネージャーではなくなる悪循環。この状況を打破する為、会社の現況と改善案を見い出して、皆さんのフィードバックを受けました。

G討論では「あなたは組織のリーダーとして、時流にどう対応していますか?」をテーマに市場と顧客の理解、イノベーションと同時に、リーダーが柔軟性を持ち学習し続けるといった内容でした。
(レポート:倉持 武)



水戸支部



鯨岡 則雄さん
(株)大宮自動車教習所
代表取締役

9月28日(木) 水戸市国際交流センター
【走り続ける経営者 鯨岡則雄が実践するマラソン経営】

しっかりと目標を決め計画を立て、実行、検証そして次の目標を立てるといふ、P・O・Aがマラソンでの成果につながると語る鯨岡さん。本日の報告も「自動車教習所という縮小市場において、着実に成果を出している理由もPDCAにある」という内容でした。報告ではあまり触れられていませんでしたが、明確な目標と計画と実践力が社員の皆さんを導くリーダーシップとなり、縮小する市場に柔軟に対応し成果を出し続けていると感じます。
しっかりと目標というビジョンを掲げそれに

向けて着実に実践・実行する。そんな経営者を従業員は求めているのではないのでしょうか。私達も、本日の例会や各種の勉強会等で学ぶだけでなく、しっかりビジョンを掲げ、それに向かって実践し続ける経営者になりましょう。
(レポート:武井 裕許)

ドラゴン支部



堀越 智也さん
つくば中央法律事務所
所長

9月14日(木) 牛久市商工会館
【自己鍛錬を重ねた先にある組織ビジョンとは?】

2007年に司法試験合格後、修行を積み2012年につくばで独立開業した堀越さん。独立してから現在までの雇用に関する苦勞を報告していただきました。安易に人を雇うことの危険性、時には辞めてもらう決断をしなくてはいけないときも(解雇は要注意!)。なかなか事務所にマッチした人財を採用できずにいたなか、試行錯誤を繰り返していくうちに自分の事務所にマッチした人財の特徴が見えてきたそうです。
「人が足りない=人を採用する」ではなく、自

分や今いる従業員の生産性を上げていくことも重要であると気づかされる例会となりました。
(レポート:大野 順市さん)



Coming Soon!

【編集後記】
どうにもやる気が出ない。次の行動になかなか移せない。なんか体がダルい。やっぱりもう少し横になろう…。このサイクルから抜け出せない時が多々ありました。どうしようもない自分が嫌になる。解決策を探したくてググってみたら、なんと脳には「やる気玉」というのが存在するそうです。脳の線条体と呼ばれる部分で、やる気の根幹と呼ばれる場所。そこが活性化することでやる気が出てくるらしい。
じゃあそのやる気スイッチを押すにはどうしたらいいのか? なんと…まずは「動く」事だそうです。「動かたくない」人がやる気を出すには「動く」こと。え? 何それ? 矛盾というか裏切られたというか…。が、これを知って以来、やっぱりこのことが頭の片隅にあるから悔しいけどとりあえずは「動こう」と思えるようになり、そして動いていると不思議とどんどんやる気が満ちてくる!
最近は腑に落ちたというか、やる気だけじゃなく何事も「行動する」ところから始まるんだなと思えるようになりました。一歩ずつでも前に進むために。(Shimo)

関東甲信越ブロック 支部長交流会in埼玉



9月5日、関東甲信越ブロック支部長交流会が開催されました。関東甲信越の1都9県の支部長が集まり日々の同友会での取組や問題などの意見を交流する会です。茨城同友会からは日立支部長のTKコンストラクト高橋秀幸支部長が報告することので茨城メンバーは7名で参加してきました。高橋支部長の報告は日立支部、茨城同友会が『例会』についてどのように考え取り組んでいるかについての問題提起。会員だれもが経営実践報告をできて、参加者全員がアウトプットをし学びを深める。成功した話ばかりでないそれぞれ会社に必ず存在する『経営の問題』にフォーカスをあてることで参加者が『置き換えて考える』しやすい例会づくりをしていることなどを事例として報告しました。
他県においては、多くの支部が毎月の例会報告者としてのよう立てていくか、作り手が『やらされ感』なく疲弊しない例会づくりはどのようにするべきかという問題をかかえていたようで、質疑応答の時間には3人の報告者のなかでも特に高橋支部長への質問が多く投げかけられました。(レポート:菊池 剛)

日立支部
11/1(水) 18:00
多賀市民プラザ
(同) パーソナルエイト
白土 正博さん

南西支部
11/21(火) 18:00
(株)クラウドファンディング
デザイン
渡邊 ゆりかさん